

【施設計画及び生活環境影響調査の実施計画に関する公告】

産業廃棄物処理施設等の設置及び維持管理に関する指導要綱（平成10年宮城県告示第737号）第13条第1項の規定により、次のとおり公告し、施設計画及び生活環境影響調査の実施計画を縦覧に供します。

株式会社 TEC 武隈

事業者等の名称、代表者	株式会社 TEC 武隈 代表取締役 大多和 正宏
住 所	宮城県岩沼市早股字前川1番地の21
産業廃棄物処理施設等の設置場所	宮城県岩沼市押分字須加原 129 番 6、129 番 14
新設又は変更の別	新設
産業廃棄物処理施設等の種類	廃掃法施行令第7条第3号 汚泥の焼却施設 廃掃法施行令第7条第5号 廃油の焼却施設 廃掃法施行令第7条第8号 廃プラスチック類の焼却施設 廃掃法施行令第7条第13号の2 産業廃棄物の焼却施設 (施行令第7条第3号、第5号、第8条、第12号に掲げるものを除く)
処理する産業廃棄物の種類	【産業廃棄物】 燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、動物系固形不要物、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。）及び陶磁器くず、鋳さい、がれき類。 以上 16 種類 (これらのうち石綿含有産業廃棄物、水銀含有ばいじん等、水銀使用製品産業廃棄物は除く。廃プラスチック類、金属くず並びにガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くずは、自動車等破砕物を含む。) 【特別管理産業廃棄物】 感染性産業廃棄物。 以上 1 種類
縦覧場所	塩釜保健所岩沼支所（岩沼市中央3丁目1-18） 株式会社 TEC 武隈本社（岩沼市早股字前川1番地の21） 株式会社 TEC 武隈ホームページ (https://tec-takekuma.co.jp)
縦覧期間	令和8年3月6日～令和8年3月20日 (ただし、土曜日、日曜日、祝日を除く)
縦覧時間	午前9時から午後5時まで
意見書の受付期間	令和8年4月4日まで
意見書の提出方法	郵送、FAX、(株) TEC 武隈ホームページ（お問い合わせ欄より）
本件に関するお問い合わせ窓口 (意見書提出先含む)	事業者名 株式会社 TEC 武隈 住所 〒989-2424 宮城県岩沼市早股字前川1番地の21 電話番号 0223-23-0335 FAX 0223-23-0338 時間 午前9時から午後5時まで (ただし、土曜日、日曜日、祝日を除く)



(施設計画等の縦覧・説明会開催に係る縦覧資料)
廃棄物焼却発電施設事業に係る概要書



株式会社 TEC武隈





目次

1. 事業計画
2. 施設の設定計画
3. 生活環境影響調査
(現況把握調査結果)





1. 事業計画

1-1 株式会社TEC武隈 会社概要

設 立	2021年1月15日
代 表 者	代表取締役 大多和 正宏
本 社	宮城県岩沼市早股字前川1番21号（二の倉工業団地内）
資 本 金	1,500万円（施設稼働時増資予定）
売 上 高	12億6,000万円（年間予定）
従 業 員	25名程度（予定）
事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none">● 産業廃棄物、特別産業廃棄物、一般廃棄物の処理・処分● 産業廃棄物、特別産業廃棄物、一般廃棄物の収集運搬● 廃棄物の処理に伴い発生する余熱を利用した電力の供給及び販売に関する事業● 廃棄物の処理に伴い発生する余熱を利用した農産物の生産・加工・販売● 廃棄物のエネルギー転換、資源化、減量化のための調査・研究・技術開発● 前各号に付帯または関連する一切の事業



1-1-1 TREグループについて

※ TREホールディングス株式会社

- 設立 2021（令和4年）年10月 1日
- 本社 東京都千代田区大手町一丁目7番2号 東京サンケイビル15階
- 上場（証券コード） 東京証券取引所プライム市場（9247）
- 資本金 100億円
- 売上高 1,186億7,800万円（2025年3月期連結）
- 従業員数 連結：2,393名（2025年3月末現在）
- 事業内容 傘下子会社及びグループの経営管理・並びにこれに付帯又は関連する業務



※ 株式会社 タケエイ（TREグループ）

- 設立 1977（昭和52）年
- 本社 東京都港区芝公園二丁目4番1号 A - 10階
- 資本金 84億8,900万円
- 売上高 756億8,200万円（2025年3月期連結）
- 創業 1967（昭和42）年
- 従業員数 単体：772名 連結：1,569名（共に2025年3月末現在）
- 事業内容 建設廃棄物処理・リサイクル, マテリアルリサイクル, ランドフィル（最終処分場）, 環境コンサルティング, 環境エンジニアリング, 再生可能エネルギー



1-1-2 出資会社について

※ 株式会社タケエイ

- 設立 1977 (昭和52)
- 本社 東京都港区芝公園二丁目4番1号 A-10階
- 出資割合 51%



※ 株式会社イーストコア

- 設立 2003 (平成15) 年12月
- 本社 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目5番16号
- 出資割合 34%



※ 株式会社イマイ自動車

- 創業 1974年 (昭和 49年)
- 設立 1990年 (平成 2年) 7月
- 本社 宮城県岩沼市早股字前川1-8 (二の倉工業団地内)
- 出資割合 15%





1-2 事業の目的

廃棄物リサイクルの推進

本計画は、循環型社会の形成に貢献することを目的として産業廃棄物を中心とする廃棄物焼却処理施設を設置し、**リサイクルの推進と適正処理**を図るとともに、**地域に根ざした事業運営**を行うものである。

災害に強いコンパクトシティの実現

近年、自然災害の増大及び激甚化が頻発する中で、災害廃棄物の処理体制、更には地域循環共生圏形成による**地域活性化** [災害に強い地域でコンパクトシティ、地域の特性に応じて補完し支え合う（共助の構築）、地域資源を活かし自立・分散型の社会を形成（地産地消・再生エネルギー導入等）] に貢献でき、その一役を担いたい。

社会貢献

タケエイグループ内で積み上げた経験・技術によって、循環型社会、脱炭素社会への貢献及び災害廃棄物の速やかな処理をグループ内で実現し、より社会に貢献する事業展開を目的として実施するものである。





1-3 事業の概要

- 事業名称
(仮称)株式会社TEC武隈 廃棄物発電施設
- 事業主体
株式会社TEC武隈 (テックたけくま)
※出資者 (出資割合) 株式会社タケエイ (TREグループ) (51%)
株式会社イーストコア (34%)
株式会社イマイ自動車 (15%)
- 事業計画地
宮城県岩沼市押分字須加原129-6、129-14 (二の倉工業団地内・工業用地)
- 事業種類の区分
産業廃棄物中間処理施設 (一般廃棄物含む焼却施設)
- 事業の規模
稼働予定時間 : 24時間/日 処理能力 : 120 t /日





2. 施設の設置計画

2-1 計画施設の概要

処理方法	産業廃棄物中間処理施設（一般廃棄物含む焼却施設）
焼却方式	ストーカ炉（発電設備能力 1,950kw）
処理能力	5 t /時間（約120 t /日）
稼働時間	24時間/日
年間処理量	36,000t/年
取り扱う産業・一般廃棄物の種類	<ul style="list-style-type: none">◆ 産業廃棄物（燃えがら、汚泥、廃油、廃アルカリ、廃酸、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、鋳さい、がれき類、動物系固形不要物、自動車破碎物を含む）◆ 特別管理産業廃棄物（感染性廃棄物）◆ 一般廃棄物（可燃物）



2-2 計画施設の予定地

住所：岩沼市押分字須加原129-6、129-14（二の倉工業団地内）



2-3 廃棄物・工事車両の搬入出経路図(案)

右の図は施設予定地までの
経路図（案）となります

次ページにて

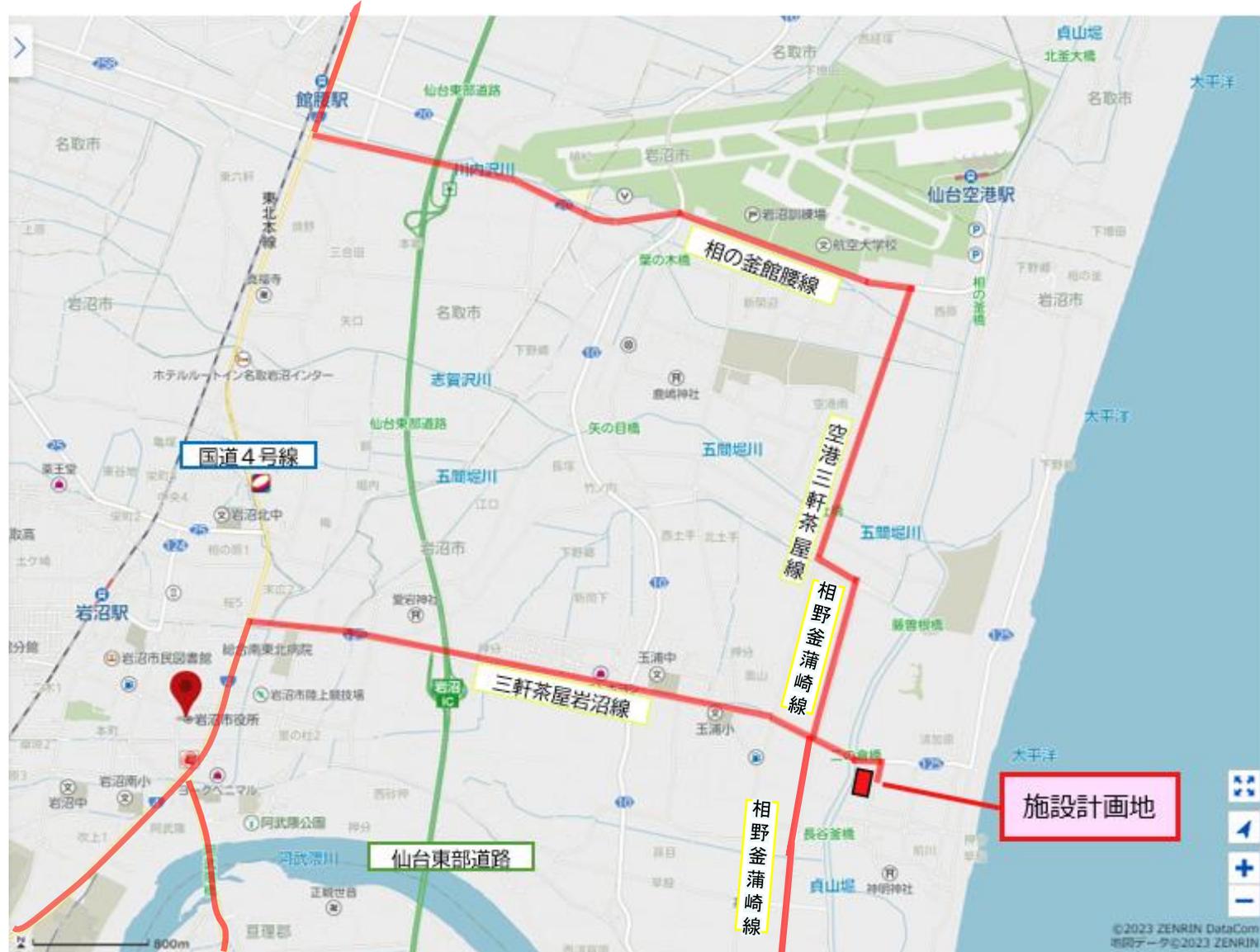
市内北側の①案 と 南側の②案 を
ご確認ください

※常磐自動車道・仙台東部自動車道を含む。



2-4 廃棄物・工事車両の搬入出経路図(案)

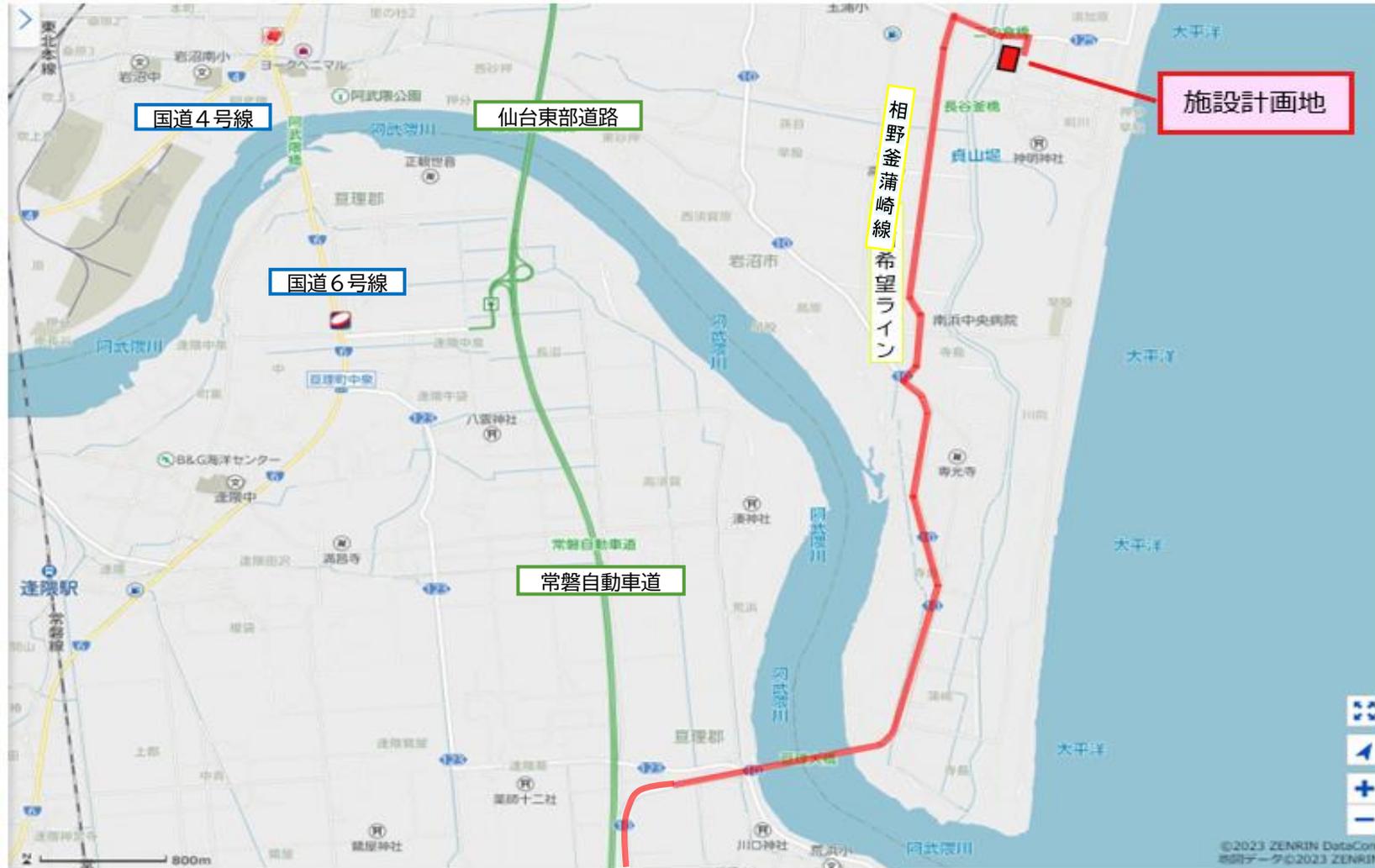
① 案



※常磐自動車道・仙台東部自動車道を含む。

2-5 廃棄物・工事車両の搬入出経路図(案)

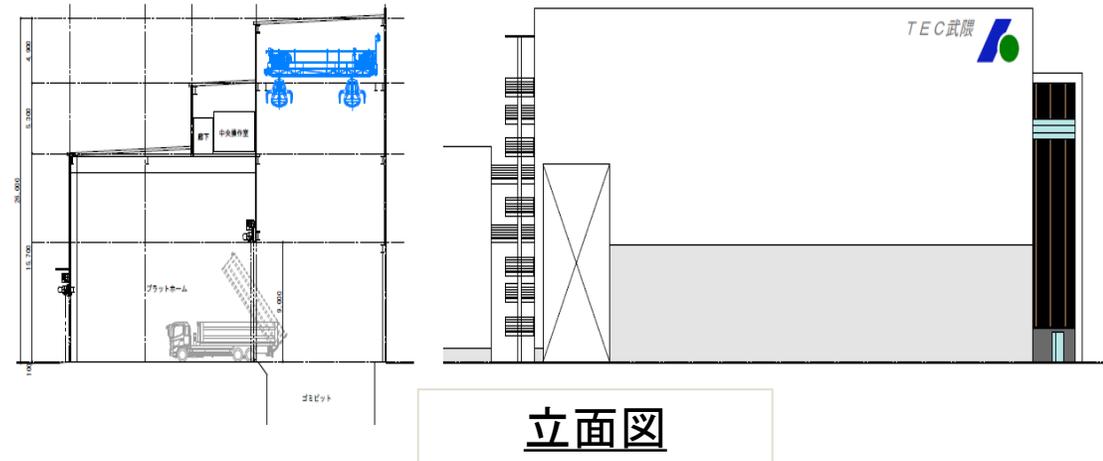
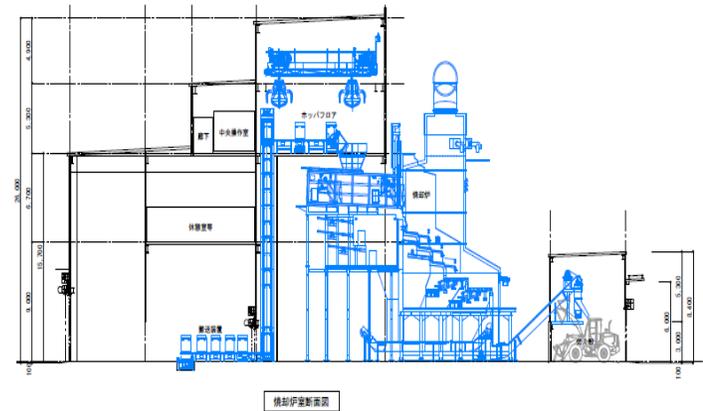
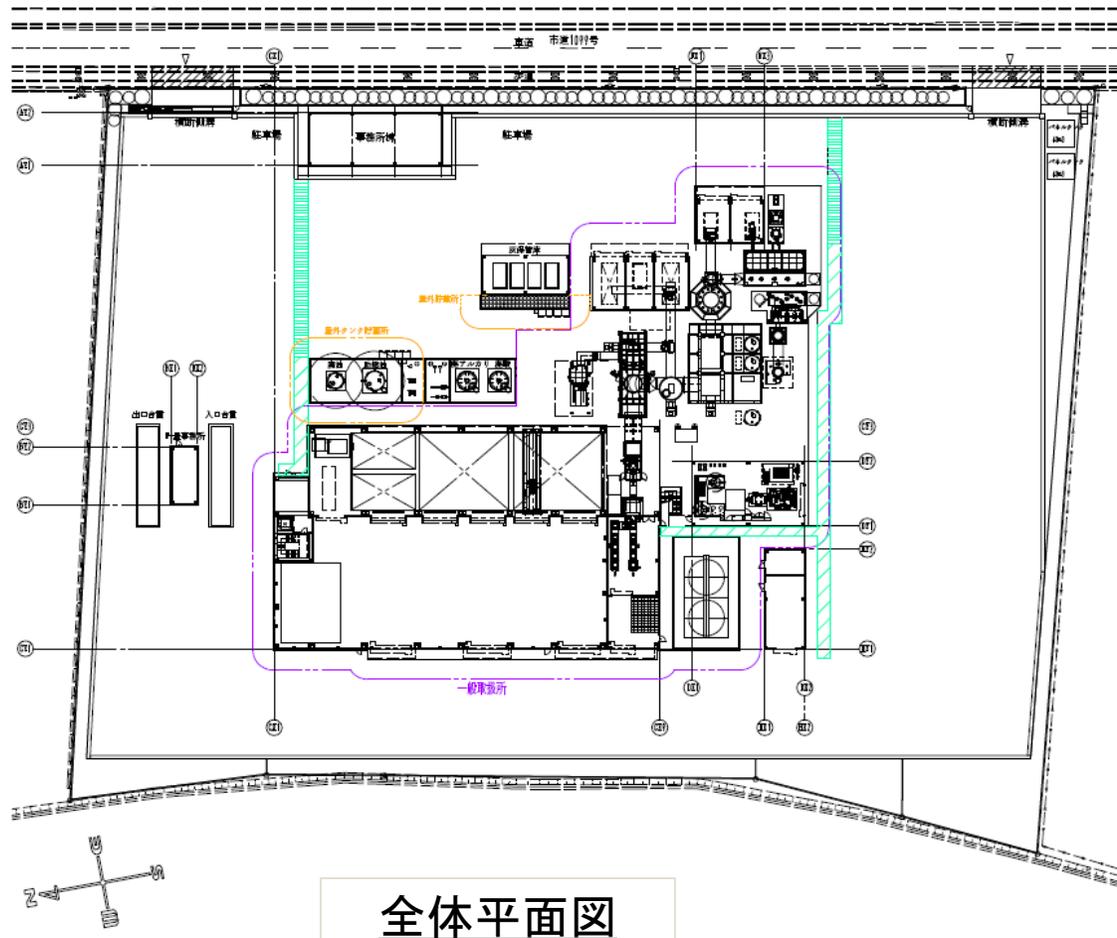
2 案



※常磐自動車道・仙台東部自動車道を含む。

2-6 計画施設の配置案

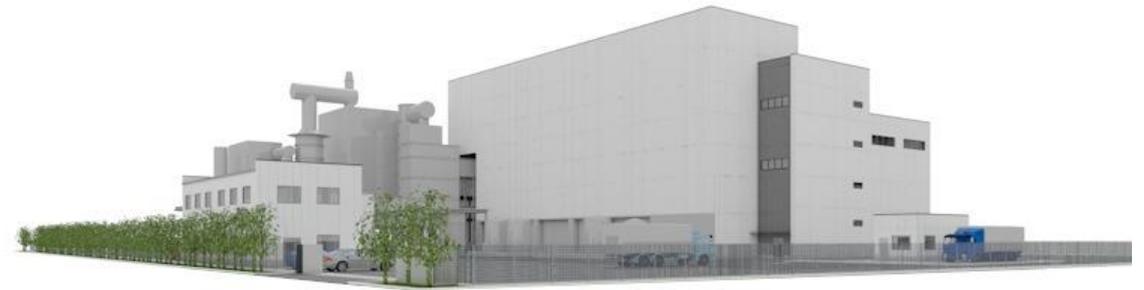
土地面積 15,633m² (約4,737坪)



2-7 計画施設のイメージイラスト

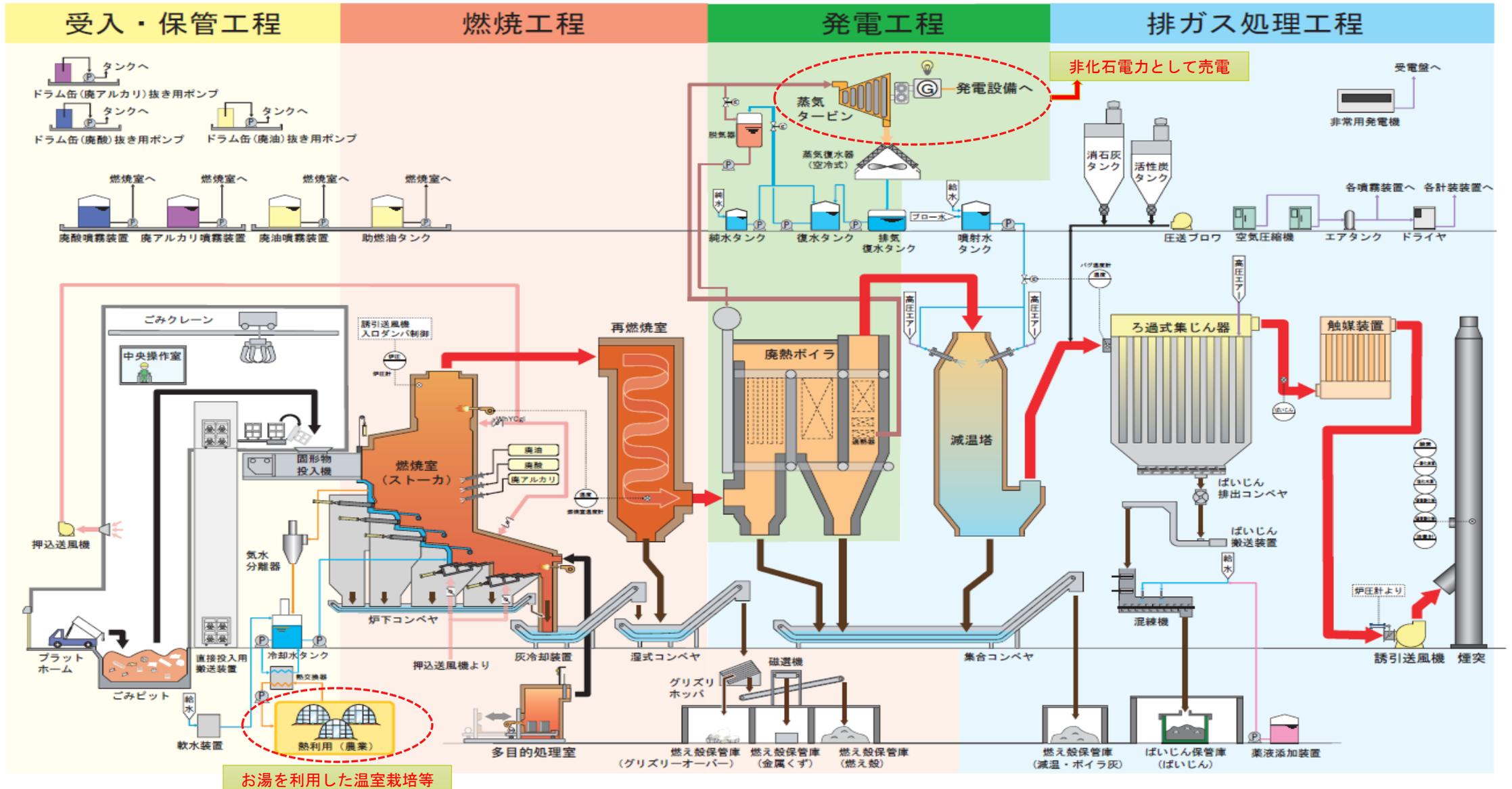


西側（山側）からのイメージ



東側（海側）からのイメージ

2-8 計画施設の処理フロー



お湯を利用した温室栽培等



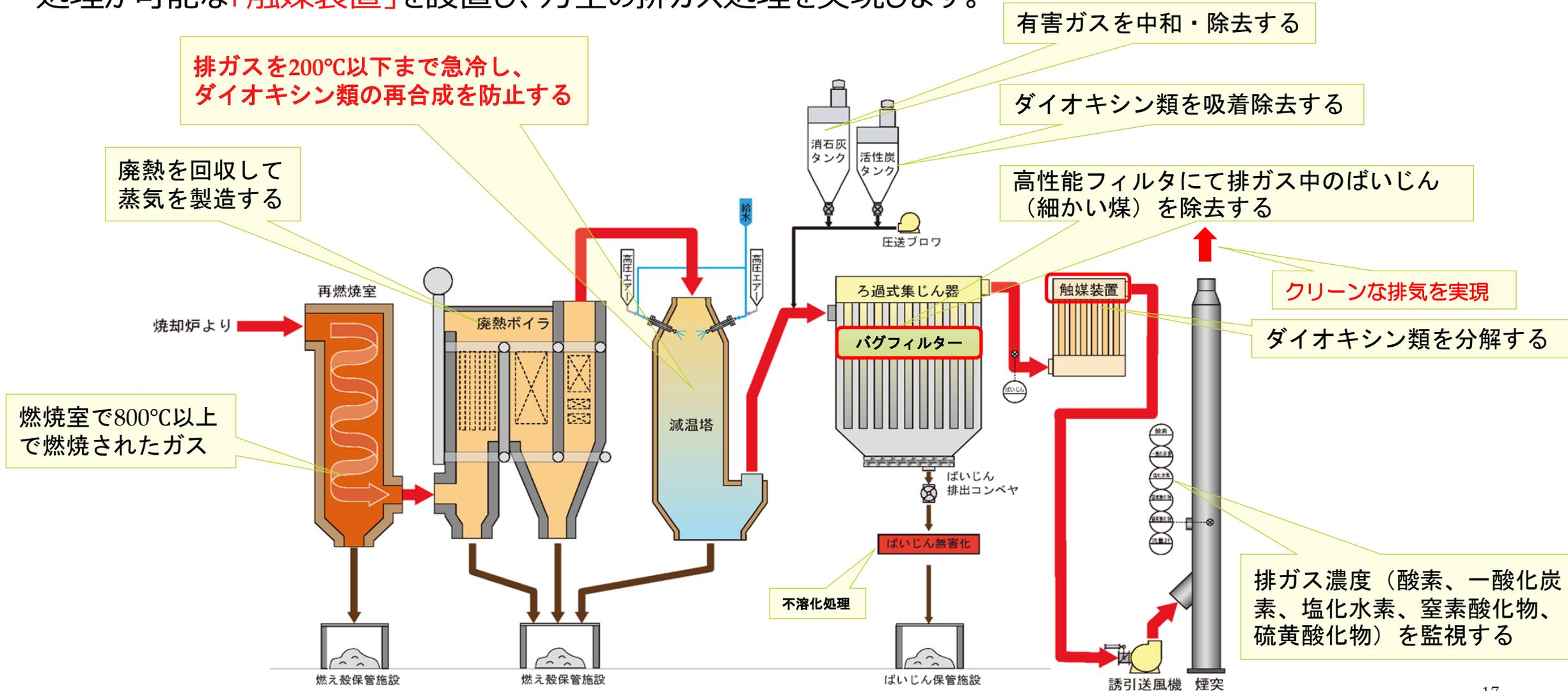
2-9 施設で実施する環境対策

大 気 質	<ul style="list-style-type: none">消石灰や活性炭などの薬剤による排ガスの浄化、ならびにバグフィルター及び触媒装置などの高性能なガス浄化設備を導入し、クリーンな排気を実現します。(ダイオキシン対策等次ページ参照)最新鋭の設備により、維持管理基準値を遵守します。ダイオキシン類の排出基準は、最高水準の0.1ng-TEQ/Nm³が適用されます。(0.1ngは100億分の1gになります。)
水 質	<ul style="list-style-type: none">焼却プラントからの排水は、すべて焼却施設におけるガス冷却塔のプラント用水として利用するため放流は行いません。場内に降った雨水は、一部ガス冷却などのプラント用水として利用し、その他は油水分離槽を経由して放流します。
騒 音	<ul style="list-style-type: none">騒音発生機器は、できるだけ建屋内に設置します。屋外設置のする機器は、必要に応じてサイレンサ、防音壁設置などの防音対策を行います。
振 動	<ul style="list-style-type: none">振動が周囲に伝わらないよう必要に応じ防振ゴムなど防振対策を実施します。振動発生源は低振動型の機器を採用します。
悪 臭	<ul style="list-style-type: none">800°C以上の高温燃焼により排ガス中の臭気成分を分解します。臭気のある廃棄物の運搬は密閉車両を用い、保管は、屋内のピット・ヤードなどで保管することにより臭気の漏洩を防止します。廃棄物を保管する屋内ピットやヤードは、負圧となるよう制御を行い、建物から臭気が漏洩しない仕組みになっています。建屋入口及びピットの開閉部には高速シャッターを用い、開閉時間を短縮することで悪臭の漏えいを防止します。
交 通	<ul style="list-style-type: none">運搬車両には、安全運転、周囲にやさしい運転を行うよう指導徹底します。搬入時間は、午前8時から午後6時までの搬入計画とし、通学路や通学時間等に配慮した運行計画とします。

2-10 大気質への対策

(高性能排ガス処理施設)

一般的な排ガス処理に用いられる全国の焼却炉で実績のある「**バグフィルター**」に加えて、ダイオキシン分解処理が可能な「**触媒装置**」を設置し、万全の排ガス処理を実現します。





3. 生活環境影響調査（現況把握調査結果）

3-1 生活環境影響調査（目的）

【調査の目的】

事業活動が周辺の生活環境にあたる影響を予測評価し、地域の生活環境が保全されることを確認する。

【調査内容】

1. 現況の把握：現状の周辺の環境状態を調査
2. 予測評価：施設の稼働や廃棄物運搬車両による環境影響を予測
3. 影響防止策：調査結果に応じ生活環境影響防止策を検証
4. 総合評価：基準値に十分に適合し、生活環境が保全されることを確認する

環境省が定める生活環境影響調査指針等に基づき実施した「現状の周辺の環境状態を調査」の結果について報告します。

調査項目：大気質、騒音、振動、悪臭





3-2 生活環境影響調査 項目

項目	環境影響要因				
	調査項目	煙突排ガスの排出	施設の稼働	施設からの悪臭の漏洩	廃棄物運搬車両の走行
大気質	二酸化硫黄	○	—	—	—
	二酸化窒素	○	—	—	○
	浮遊粒子状物質	○	—	—	○
	ダイオキシン類	○	—	—	—
	塩化水素	○	—	—	—
	総水銀	○	—	—	—
騒音	騒音レベル	—	○	—	○
振動	振動レベル	—	○	—	○
悪臭	特定悪臭物質と臭気指数	○	—	○	—
その他	景観	—	○	—	—
	人と自然との触れ合い活動の場	—	○	—	—

- 備考 1. 環境省指針において、焼却施設に設定されている標準項目のうち、本事業の特徴と当該地域の特性を考慮し、設定した調査項目である。
 2. 公共用水域への排水はないため、水質は調査項目として選定しない。
 3. その他項目は、環境省指針の標準項目には設定されていないが、岩沼市の指導に従い設定した項目である。





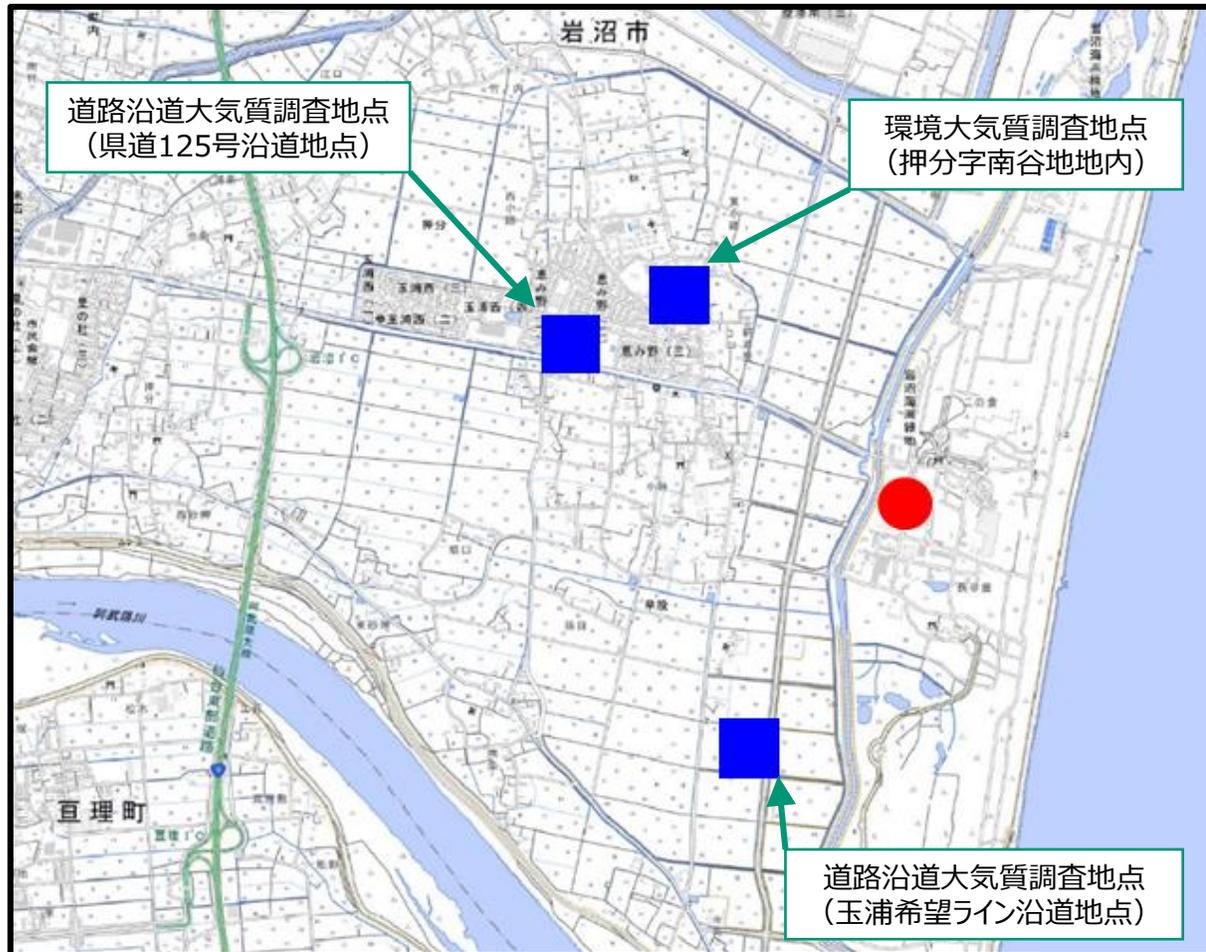
3-3 現況把握調查結果

- 3-3-1 大氣質濃度（環境大氣質、道路沿道大氣質）
- 3-3-2 騒音（環境騒音、道路交通騒音）
- 3-3-3 振動（環境振動、道路交通振動）
- 3-3-4 悪臭





3-3-1(1) 大気質 現地調査地点



環境大気質調査地点
(押分字南谷地地内)



道路沿道大気質調査地点
(県道125号沿道地点)
(恵み野二丁目地内)



道路沿道大気質調査地点
(玉浦希望ライン沿道地点)
(早股須賀原地内)



3-3-1(2) 一般環境大気質 現地調査結果

調査項目	区分	令和3年5月 (春季)	令和3年7月 (夏季)	令和3年11月 (秋季)	令和4年1月 (冬季)	環境基準等
二酸化硫黄 (ppm)	期間平均値	0.003	0.001	0.001未満	0.001未満	0.04以下
		0.001				
	日平均値の最大値	0.003	0.001	0.001未満	0.001未満	0.1以下
1時間値の最大値	0.004	0.003	0.002	0.002		
二酸化窒素 (ppm)	期間平均値	0.004	0.003	0.007	0.006	0.06以下
		0.005				
	日平均値の最大値	0.005	0.005	0.010	0.011	0.1以下
1時間値の最大値	0.015	0.010	0.025	0.023		
浮遊粒子状物質 (mg/m ³)	期間平均値	0.008	0.018	0.019	0.005	0.10以下
		0.013				
	日平均値の最大値	0.014	0.028	0.024	0.008	0.20以下
1時間値の最大値	0.053	0.097	0.040	0.024		
ダイオキシン類 (pg-TEQ/m ³)	期間平均値	0.0037	0.0061	0.0059	0.0050	0.6以下
		0.0052				
塩化水素 (ppm)	期間平均値	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.02以下
		0.001未満				
総水銀 (μg-Hg/m ³)	期間平均値	0.0020	0.0016	0.0021	0.0013	0.04以下
		0.0018				
	日平均値の最大値	0.0023	0.0022	0.0070	0.0014	



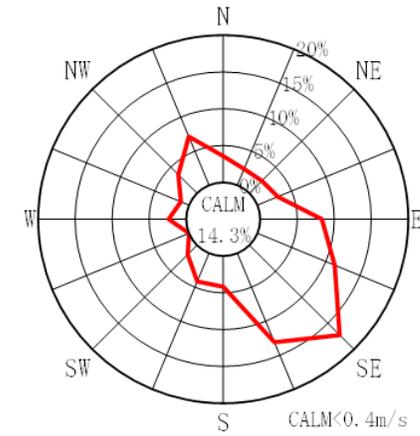
3-3-1(3) 道路沿道大気質 現地調査結果

調査項目	区分	令和3年11月（秋季）		環境基準等
		県道125号 沿道地点	玉浦希望ライン 沿道地点	
二酸化窒素 (ppm)	期間平均値	0.010	0.004	0.10以下
	日平均値の最大値	0.013	0.007	
	1時間値の最大値	0.026	0.018	0.20以下
浮遊粒子状物質 (mg/m ³)	期間平均値	0.009	0.013	0.10以下
	日平均値の最大値	0.013	0.018	
	1時間値の最大値	0.078	0.077	0.20以下

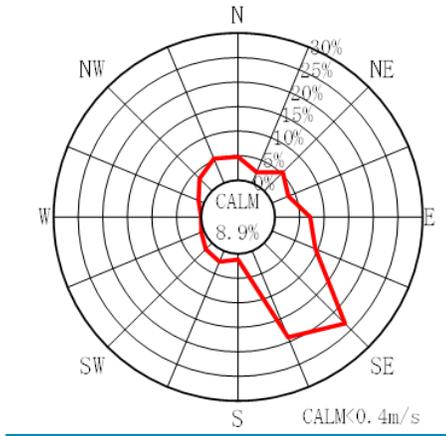


3-3-(4) 気象 現地調査結果 (風向・風速、気温、湿度)

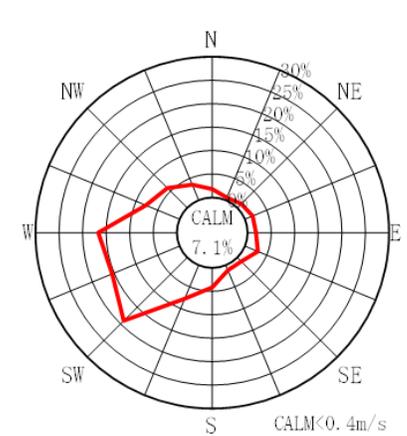
調査項目	区分	令和3年5月 (春季)	令和3年7月 (夏季)	令和3年11月 (秋季)	令和4年1月 (冬季)	
風向	最多風向	南東	南東	南西	西北西	
	出現率 (%)	17.3	23.2	19.0	19.6	
風速 (m/s)	期間平均値	1.6	1.8	1.5	2.1	
	1時間値	最大	4.5	4.1	4.3	7.3
		最小	0.4未満	0.4未満	0.4未満	0.4未満
	静穏率 (%)	14.3	8.9	7.1	11.9	
気温 (℃)	期間平均値	17.0	25.6	11.0	2.1	
	1時間値	最大	26.6	32.3	19.3	9.3
		最小	12.6	21.2	4.4	-2.9
湿度 (%)	期間平均値	89	86	70	65	
	1時間値	最大	100	99	95	96
		最小	32	61	33	38



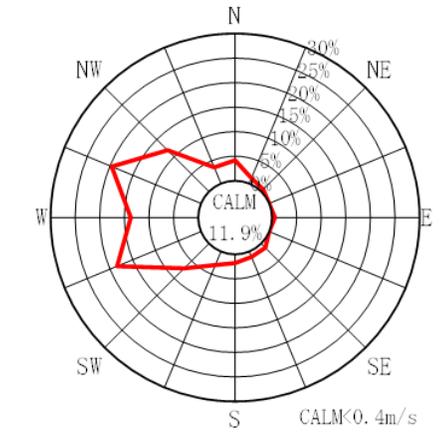
【春季：令和3年5月】



【夏季：令和3年7月】



【秋季：令和3年11月】

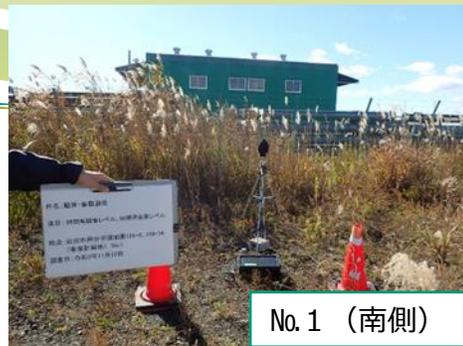


【冬季：令和4年1月】

風配図 (現地調査結果)

3-3-2(1) 騒音 現地調査地点

調査期間：令和3年11月の平日と休日



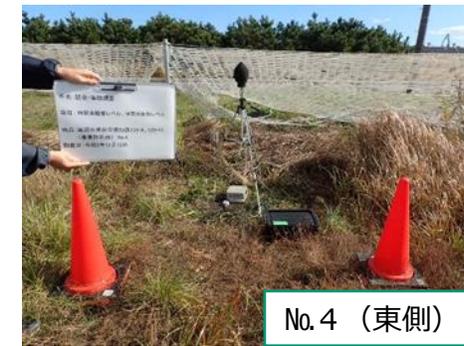
No. 1 (南側)



No. 2 (西側)



No. 3 (北側)



No. 4 (東側)

環境騒音調査地点 (事業計画地：押分字須加原地内)



道路交通騒音調査地点 (県道125号沿道地点)



道路交通騒音調査地点 (玉浦希望ライン沿道地点)

事業計画地調査位置拡大図)



3-3-2(2) 騒音 現地調査結果

環境騒音（事業計画地の騒音の状況）

時間の区分	騒音 (LA5) レベル (dB)								公害防止条例 規制基準値
	No. 1 地点 (南側)		No. 2 地点 (西側)		No. 3 地点 (北側)		No. 4 地点 (東側)		
	平日	休日	平日	休日	平日	休日	平日	休日	
朝 (6時～8時)	55	47	52	46	54	50	58	51	60
昼間 (8時～19時)	65	62	64	63	65	63	64	64	65
夕 (19時～22時)	60	59	60	59	60	60	54	59	60
夜間 (22時～6時)	54	47	55	47	55	48	48	47	55

道路交通騒音（主要搬入経路沿道の騒音の状況）

時間の区分	等価騒音 (LAeq) レベル (dB)				環境基準 (道路に面する地域)
	県道125号沿道地点 (恵み野二丁目地内)		玉浦希望ライン沿道地点 (早股須賀原地内)		
	平日	休日	平日	休日	
昼間 (6時～22時)	64	62	58	57	65
夜間 (22時～6時)	59	56	54	49	60



3-3-3 振動 現地調査結果

振動調査地点は、騒音と同じ地点である。また、騒音と同じ日に調査を実施した。

環境振動（事業計画地の振動の状況）

時間の区分	振動（L ₁₀ ）レベル（dB）								公害防止条例 規制基準値
	No. 1 地点 （南側）		No. 2 地点 （西側）		No. 3 地点 （北側）		No. 4 地点 （東側）		
	平日	休日	平日	休日	平日	休日	平日	休日	
昼間（8時～19時）	42	33	38	29	41	34	48	39	65
夜間（19時～8時）	33	40	31	25未満	36	25未満	38	25未満	60

道路交通振動（主要搬入経路沿道の振動の状況）

時間の区分	振動（L ₁₀ ）レベル（dB）				公害防止条例 規制基準値
	県道125号沿道地点 （恵み野二丁目地内）		玉浦希望ライン沿道地点 （早股須賀原地内）		
	平日	休日	平日	休日	
昼間（8時～19時）	37	31	33	25	65
夜間（19時～8時）	34	26	29	25未満	60



3-3-4(1) 悪臭 現地調査地点

調査期間：令和3年7月の平日





3-3-4(2) 悪臭 現地調査結果

臭気指数

項目	事業計画地地点 (押分字須加原地内)	一般環境地点 (押分字南谷地地内)	公害防止条例 規制基準
臭気指数	10未満	10未満	15

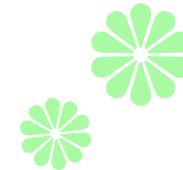
備考 事業計画地は、規制基準が適用される地点である。
一般環境地点は、規制基準が適用されない地点である。

特定悪臭物質（22物質）

特定悪臭物質(22物質)	事業計画地地点 (押分字須加原地内)	一般環境地点 (押分字南谷地地内)
1.アンモニア 2.メチルメルカプタン 3.硫化水素 4.硫化メチル 5.二硫化メチル 6.トリメチルアミン 7.アセトアルデヒド 8.プロピオンアルデヒド 9.ノルマルブチルアルデヒド 10.イソブチルアルデヒド 11.ノルマルバレリルアルデヒド 12.イソバレリルアルデヒド 13.イソブタノール 14.酢酸エチル 15.メチルイソブチルケトン 16.トルエン 17.スチレン 18.キシレン 19.プロピオン酸 20.ノルマル酪酸 21.ノルマル吉草酸 22.イソ吉草酸	事業計画地及び一般環境地点ともに、 各悪臭物質濃度は分析下限値未満の結果であった。	

備考 岩沼市では特定悪臭物質による規制はされていない。

以上でご説明を終わります。
ご縦覧ありがとうございました。



今回頂きましたご質問質問への回答は(株)TEC武隈ホームページに掲載させていただきます。
(株)TEC武隈ホームページ <https://tec-takekuma.co.jp>